学校だより

平成 30 年 1 月 26 日

２月号

横浜市立あざみ野第一小学校

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/azamino1/　　０４５－９０２－７１５１

備えあれば・・・ありますか？

副校長　　鈴木　智彦

大寒を過ぎ、一段と厳しい寒さが続くこの頃です。1 月 22 日（月）は、低気圧の影響で広い範囲で大雪となりました。翌日、子どもたちの登校前に雪かきをしてくださる保護者や地域の方の姿をお見かけしました。いつもご支援くださり、ありがとうございます。

さて、1 月 17 日（火）に、安全学習（避難訓練）を行いました。今回は、休み時間に地震が発生したという想定で、予告なしです。これまでの成果の確認として「私たち職員も含め、それぞれがどう判断し、どう動くか」を試される場です。

今まで４回の安全学習（避難訓練）の中で課題となっていたのは、いかに早く避難経路の安全や負傷者の有無を確認し、一次避難につなげるか、という点です。職員室は日常的に人が少ないのが現状で、複数で安全確認をする余裕はありません。また、授業があり、常に席に同じ職員がいるわけではないため、その場で担当を決めて対応していかざるをえません。そこで、今年度はトランシーバーを導入し、効率よく安全確認ができるよう改善に取り組んでいます。

しかし、今回、この波についていけていないのが自分だと、改めて痛感しました。トランシーバーの操作がなかなか馴染まないのです。本部で避難人数の確認をしている時に、トランシーバーからの音声が入ると、つい避難報告を聞き逃してしまう。トランシーバーからの連絡に応えようとしても、操作方法を確かめている間に別の話題になってしまう。何より、目の前の本部での情報、トランシーバーから入る情報、いろいろなレベルの情報が入りすぎて、消化不良を起こしている自分に気付きました。

ただ、その現状を教職員で確認し、①使用法の共通理解　②避難経路安全確認時の連絡内容の精査　③連絡系統の一本化　等を改善点として取り組もうと考えています。実際に取り組んだことで、様々な課題が見えてきました。トライ＆エラー＆トライを進める中で、少しでも取組の質を上げていきたいと思います。

２月２４日（土）１０時～１３時、本校にて地域防災拠点防災訓練があります。ぜひ、ご家族で参加し、実際に発災した時の動きを確認しながら、それぞれのご家庭ではどうするかを話題にしていただければと思います。